

#### 目次

第30回研究発表大会のお知らせ	1p
企画セッション（要聴講参加登録/参加費不要）	1p
第30回研究発表大会 日程表（8/18版）	2p
大会優秀発表賞およびポスターセッション賞	4p

分科会報告	4p
代議員公募	4p
学会からのお知らせ	5p
事務局からのお知らせ	5p

## 第30回研究発表大会のお知らせ

第30回地理情報システム学会研究発表大会を2021年10月30日（土）・31日（日）に、オンラインで開催いたします。コロナ禍の中、今年も異例の大会となります。講演発表、ポスター発表、および、シンポジウム・ハンズオンセッションなど多彩な企画もございますので、奮ってご参加下さい。

本誌には、プログラムの概要を掲載いたします。詳細は、学会ホームページをご覧下さい。特に今回は、学会当日でもいろいろな変更の可能性がありますので、必ず最新の情報をご確認ください。

なお、平成27年度より、講演発表・ポスター発表の発表者には、測量CPD学習プログラムのポイントが付与されます。大会で発表した場合、(1)領収書は「GIS上級技術者」への申請にお使いいただけます。(2)「測量系CPD学習プログラム」への申請を希望する方は、**大会後にメールで事務局へ「氏名」「発表番号」「発表タイトル」を連絡下さい。**

**大会期間：2021年10月30日（土）・31日（日）**

**場所：オンライン開催**

### 企画セッション（要聴講参加登録／参加費不要）

※ハンズオンセッションは、事前のお申込をお勧めします

#### ◆シンポジウム

【2021年度初等中等教育におけるGISを活用した授業による優良事例表彰】

10月30日(土)8:30-10:30  
企画：中谷友樹（教育委員会）

2021年度に実施された、初等中等教育においてGISを活用した授業のうち、優良事例について表彰し、その内容を発表する。

#### ◆ワークショップ

【今後のDXにつながる自治体GISの最新の取組み】

10月30日（土）8:30-10:30

企画：青木和人（自治体分科会）

現在、自治体DX推進計画の策定が求められています。

これまでのICTやAIはどちらかというと業務の効率化や簡素化に重点において導入されてきたところであるが、スウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が提唱したDXはこれまでのICT等による効率化を踏まえて、組織の仕組みそのものをさらに改善しようとするものです。ここで必要なのは、職員の一人ひとりが府内外にあるデータを活用し、考え、実行することが求められます。これまで技術に頼るという考え方から、技術を使う職員が求められるようになっていきます。

そこで、本セッションでは、自治体DXについて整理した上で、話題提供者から自治体GISの最新の取り組み事例を紹介いただきます。その後、参加者によるディスカッションを行い、今後のDXにつながる自治体GISの活用方法について、参加型で議論を深め検討します。

#### ◆シンポジウム

【30周年記念セッション】

10月30日（土）10:50-12:20

司会：山本佳世子（事務局長）

当学会は1991年11月30日に設立されました。30周年を迎えるに当たり、第4代会長の岡部篤行氏、第8代会長の村山祐司氏から、まずご講演いただきます。さらに、お二人のご講演を受けて、現会長の大佛俊泰氏からもご講演いただきます。

## 第30回研究発表大会 日程表（8月18日版）

- ※ 通常の口頭およびポスターセッションへの参加には、参加登録と大会参加費が必要です。
- ※ 企画セッション（グレーの色のセッション）だけに参加される場合、**大会参加費は不要ですが、聴講参加登録は必要です。** 詳しくは大会webページをご覧ください。
- ※ 開始時間が変更になる場合もあります。最新情報は大会webページでご確認ください。
- ※ 当日の情報提供は、大会Twitterをご覧ください。

会場A	会場B	会場C	会場D	会場H
<b>10月30日(土)</b>				
8:30-10:30	2021年度初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰	B30-1 都市環境	C30-1 解析理論	今後のDXにつながる自治体GISの最新の取組み
10:50-12:20	学会設立30周年記念セッション（会場A）			
12:50-13:40	ポスターセッション（ポスター会場にて / 最終投票時間 31日 13:35）			
13:50-15:50	「地理総合」に向けたGIS教育オンラインプラットフォーム(1)	B30-3 防災(津波)	C30-3 土地利用	D30-3 移動・交通(1)
16:10-18:10	「地理総合」に向けたGIS教育オンラインプラットフォーム(2)	B30-4 防災(復興)	C30-4 景観	D30-4 移動・交通(2)
18:30-20:00	学生フリーテーマ発表会2021(1)			
<b>10月31日(日)</b>				
8:30-10:10	FOSS4Gを使って3D空間データを扱ってみよう(1)	B31-1 防災(建物被害)	C31-1 歴史・考古	D31-1 空間分析
10:30-12:10	FOSS4Gを使って3D空間データを扱ってみよう(2)	B31-2 防災(避難)	C31-2 3Dモデル(1)	D31-2 犯罪
12:40-13:30	ポスターセッション（ポスター会場にて / 最終投票時間 31日 13:35 コアタイム終了直後ですので、ご注意ください）			
13:40-15:40	第16回マイクロジオデータ研究会「マイクロジオデータ研究会10年間の歩みとこれからのマイクロジオデータ研究の方向性について」(1)	B31-3 アクセシビリティ	C31-3 3Dモデル(2)	D31-3 自治体
16:00-18:00	第16回マイクロジオデータ研究会「マイクロジオデータ研究会10年間の歩みとこれからのマイクロジオデータ研究の方向性について」(2)	B31-4 人口・居住	C31-4 データ取得	学生フリーテーマ発表会2021(2) ArcGIS API for Python体験
18:10-18:30	閉会式（会場A）			

## ◆シンポジウム

【「地理総合」に向けた GIS 教育オンラインプラットフォーム】

(1) 10月30日(土) 13:50-15:50  
 (2) 10月30日(土) 16:10-18:10  
 企画: 中谷友樹(教育委員会)

高校における「地理総合」必修化を来年度に控え、その柱の1つに位置付けられているGIS教育のオンライン上のプラットフォームには様々なものが存在している。では、何をどのように活用すべきだろうか。本シンポジウムでは、地理情報関連企業および政府機関が提供するGIS教育オンラインプラットフォームについて、それぞれの開発者や活用実践例を提案している立場から紹介してもらい、現場での有用性、さらなる可能性、ならびに解決すべき諸課題を、パネリストとの質疑を通して深めていきたい。

## 【学生フリーテーマ発表会 2021】

(1) 10月30日(土) 18:30-20:00  
 (2) 10月31日(日) 16:00-18:00  
 企画: 相尚寿(若手分科会)

若手分科会では、研究発表大会が学生のみなさんにとっても成果発表の場および研究交流の場になってほしいと考え、本年度も「学生フリーテーマ発表会」を企画します。本年度は2セッションとし、成果発表セッションと交流セッションに分けます。

**(1)成果発表セッション**は一定の研究成果が出ている学生さんを対象に、通常の口頭発表セッションに近い形で運営します。優秀な研究発表と将来性のある研究テーマについて、それぞれ分科会として表彰する予定です。

**(2)交流セッション**は構想段階での研究発表、講義やゼミなどでの取り組みを紹介することを重視し、発表時間よりも質疑応答や意見交換の時間を長くとります。いずれも学生さんであれば学年や分野を問わず発表できます。他大学、他分野の学生さんと交流する機会としてぜひ発表をご検討ください。

詳しくは若手分科会のサイトでご案内しています。

<https://sites.google.com/view/gisa-wakate/>

## ◆ワークショップ

### 【FOSS4G を使って 3D 空間データを扱ってみよう】

(1) 10月31日(日) 8:30-10:10  
 (2) 10月31日(日) 10:30-12:10  
 企画: 岩崎亘典(FOSS4G 分科会)

近年、国土交通省による日本全国の3D都市モデルの整備・オープンデータ化プロジェクトである「PLATEAU」や、静岡県によるバーチャル静岡のLiDAR点群データなど、多くの3次元空間情報がオープンデータとして公開されている。今後、これらのデータを活用した研究が進展することが期待される。本ワークショップでは、FOSS4Gを用いたこれらのデータの表示、処理の方法について利用者間での情報共有を進めることを目的として、開催する。なお、申し込み方法等の詳細についてはFOSS4G分科会のWebページにて後日公開する。

<https://sites.google.com/site/foss4gsig/>

## ◆シンポジウム

【第16回マイクロジオデータ研究会「マイクロジオデータ研究会10年間の歩みとこれからのマイクロジオデータ研究の方向性について】】

(1) 10月31日(日) 13:40-15:40  
 (2) 10月31日(日) 16:00-18:00  
 企画: 秋山祐樹

2011年に発足した本研究会は、マイクロジオデータ(MGD:位置情報や時間情報を持つ時空間的に高精細なデータや統計の総称)の普及と利活用について産官学の有識者を中心に議論を行ってきました。MGDは既存の各種統計・空間データでは実現し得なかった、時空間的にきめ細やかな分析や計画支援等への利活用が期待されています。

研究会発足から10周年を迎えた今回のMGD研究会では、これまでの研究会の歩みを振り返るとともに、これからのMGDを活用した研究の方向性について、また研究会そのものがあり方や期待される役割などについて、産官学の有識者からのMGDを活用した研究・事例の紹介も交えつつ議論を深めたいと考えています。

研究会の詳細・参加申し込み等については以下からお願いいたします。

<http://microgeodata.jp/contents/mgd16.html>

## ◆ハンズオン【クラウド GIS 体験】

10月31日(日) 13:40-15:40

企画: 土田雅代(ESRI ジャパン株式会社)

インターネットの接続環境があれば、どこでも、どの端末でも利用できるクラウドGISであるArcGIS Onlineを使って、Webマップの作成、ArcGIS Online Appsなどを体験して頂きます。

参加希望の方は以下にお申込みの上、当日はインターネット接続可能なPCおよびタブレットのどちらかをご用意ください。

お申込み先: 土田 [masayo\\_tsuchida@esrij.com](mailto:masayo_tsuchida@esrij.com)

## ◆ハンズオン【ArcGIS API for Python 体験】

10月31日(日) 16:00-18:00

企画: 土田雅代(ESRI ジャパン株式会社)

Pythonをブラウザ上でインタラクティブ(対話的)に実行できるツールであるJupyter Notebookを利用してWebマップと地理空間データを扱うためのPythonベースのAPIを体験していただきます。

参加希望の方は以下にお申込みの上、当日はインターネット接続可能なPCおよびタブレットのどちらかをご用意ください。

動作環境

<https://www.esrij.com/products/arcgis-api-for-python/environments/>

お申込み先: 土田 [masayo\\_tsuchida@esrij.com](mailto:masayo_tsuchida@esrij.com)

## ◆閉会式

10月31日(日)18:10-18:30

今年度の地理情報システム学会賞の授与および第17回大会優秀発表賞、第10回ポスターセッション賞、学生フリーテーマ発表会の優秀者の発表があります。来年度の大会についてのご案内も予定しております。

## 大会優秀発表賞およびポスターセッション賞

### 【第17回大会優秀発表賞】

対象者は本学会の学生会員（年会費完納者）であり、修士号未修得の、口頭発表発表者に限られます。研究（論文）内容や発表技術の優秀者からセッション司会者が受賞候補者を推薦し、学会賞委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

受賞者には賞状を後日送付し、ニュースレター120号に氏名と所属を公表します。また、『GIS・理論と応用』Vol.29, No.2に発表要旨を掲載（白黒印刷のみ）します。受賞者は11月15日（月）までにA4用紙1枚の原稿提出にご協力下さい。

### 【第10回ポスターセッション賞】

ポスターセッション参加者全員が審査の対象です。投票方法については、発表および聴講登録者に別途ご案内いたします。

受賞者には賞状を後日送付し、ニュースレター120号に氏名と所属を公表します。また、『GIS・理論と応用』Vol.29, No.2に発表要旨を掲載（白黒印刷のみ）します。受賞者は11月15日（月）までにA4用紙1枚の原稿提出にご協力下さい。

## 【分科会報告】

### ■ 若手分科会

### 【代表 相 尚寿】

若手分科会では、大学におけるGISの実技系講義がオンライン化された状況を受け、2020年度より、その受講者や担当教員を対象にした実態把握アンケートを実施しています。大学など高等教育機関で所属学生向けに実施された講義であり、複数回にわたりGIS操作を受講者に求めており成果物の提出が必要であること、GIS操作を伴う回のうち最低でも1回はオンライン授業として実施されたことが対象となる講義の条件です。2020年度実施分に対して寄せられた回答の速報集計は若手分科会サイトで公開しています。2021年度前半にこれらの講義を受講した学生さん、開講した先生方は、ぜひご回答をお願いいたします。

<https://sites.google.com/view/gisa-wakate/online>

※右上のQRコードからもアンケートにアクセスできます。



## 【代議員公募】

### ■ 次期一般社団法人地理情報システム学会代議員公募のお知らせ

選挙管理人 浅見 泰司

今期代議員が本年12月31日に任期満了を迎えることに伴い、定款第17条による次期代議員の公募を下記の通り実施します。

残念ながら、これまでの本学会は会員中の割合に比べて代議員に若手や女性が少ない傾向にあります。多様な立場・視野からの意見の反映が学会活動のさらなる活性化に繋がります。是非とも積極的な立候補をお願いします。

なお、学会を形成する委員会、支部、分科会の会議等運営に関わる活動を行う代議員は、CPD学習ポイントを申請することができます。

記

1. 代議員の定員（定款第16条）：30名以上50名以下  
代議員選挙管理規程に基づき、候補者数に従って以下のように対応します。
  - 30名に満たない場合（規程第4条の3）：追加募集
  - 30名以上50名以下の場合（規程第5条）：信任投票
  - 50名を越える場合（規程第6条）：投票
2. 代議員の資格（定款第17条の3）：正会員
3. 次期代議員の任期（定款第19条）：  
2022年1月1日～2023年12月31日
4. 代議員の主な役割：
  - （定款18条）社員総会に出席し審議事項を審議し議決する。
  - （定款24条）理事及び監事に選任される資格を持つ。これらに合わせ、委員会や学術大会での活躍が期待されます。
5. 受付期間：2021年10月1日（金）～10月31日（日）
6. 立候補の方法：表題を「代議員立候補」とし、立候補者について下の①～⑥を記載したE-mailを事務局にお送りください。
  - ①氏名
  - ②所属
  - ③会員番号
  - ④連絡先（E-mailアドレス）
  - ⑤当学会での活動歴（役職等）又は抱負（200文字以内）  
※選挙人に公開されます
  - ⑥推薦人（正会員1名）の氏名と所属

## 【学会からのお知らせ】

### ■ 2021年第5回IAG'iシンポジウム

COVID-19の急拡大により、6月に台湾で予定されていたIAG'iシンポジウムが8月23日（月）に日延べされ、オンラインにて開催されました。

大佛会長のキーノートスピーチほか、日本からは6人が口頭発表を行いました。

なお、来年度は日本での開催を予定しております。

### ■ ニューズレターの配信方法について(再掲／広報委員会)

117号（3月25日発行）より、ニューズレターのメール配信を始めています。およそ1年間の移行期間（郵送およびメール配信）を経て、ニューズレター120号（12月25日発行）以降はメール配信に一本化する予定です。

ニューズレターは発行され次第、学会Webの「Hot Topics」からご覧いただけますが、現在メールニュースの配信を希望されていない会員の方も漸次、メーリングリストに加える作業を行います。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

なお、過去のニューズレターは、

学会Webの「トップページ」→「GISA案内・ニュース」→「News Letter」でご覧になれます。

メール配信にすることで、テレワーク等で手元に紙媒体のニューズレターがない場合でも、電子ファイルで閲覧できるようになる上、写真等はカラーでご覧いただけるようになります。

## 【事務局からのお知らせ】

### ■ 委員会、支部、分科会へのZOOMの権限貸与について

本学会では、学会活動を活発化するために、各委員会、支部、分科会の会議に限り、学会事務局のZOOMの権限を貸与します。

ご希望の方は、以下のルールに従ってお申込みください。

1. 事務局に原則として1週間前までに事前申請する  
会議の設定・開催は各グループの自由裁量とする
2. ホストのグループを明示する
3. 会議終了後には、開催記録（開催日時、参加者等）の基本情報を事務局に報告する
4. 会議は必ずパスワード付きで開催し、第三者には明かさない

### ■ メールニュース受信についてのお願い

BCC または配信先が多数のメールを受信できない設定の企業等団体の方で、学会メールニュースをお読みになりたい方は、個人のメールアドレスを事務局までお知らせください。また、アドレスが変更になった場合は、変更届の提出をお願いいたします。

<https://www.gisa-japan.org/member/login.php>

### ■ メールニュースへの掲載ご希望の方へ

学会では個人会員を対象に、メールニュースを配信しています。

内容は学会からのお知らせ、関連イベント、公募情報が主ですが、こちらに掲載をご希望の方は、以下の「お送りいただく情報」をご参照の上、事務局までお申し込み下さい。(ホームページ上でもご案内しております。

<http://www.gisa-japan.org/news/request.html?id=02>

なお、ニュースの配信は、毎月第2・第4金曜日を目安にしています。

＜お送りいただく情報＞

イベントの場合

- ・イベント名
- ・URL
- ・日時（年は西暦/時間は24時間表記）
- ・会場名
- ・主催

お知らせの場合

- ・タイトル
- ・URL
- ・内容は200文字程度

公募の場合

公募情報の依頼ができるのは、賛助会員と教育関係の方だけです。

- ・タイトル
- ・概要、分野
- ・機関名
- ・所属
- ・職名
- ・URL（詳細情報）

### ■ 会議の場所をご提供します

分科会（SIG）、委員会、支部など、学会活動に関することで会議をしたいが場所が無い...という方は、事務局までお申し出ください。事務局が入居している学会センタービルの地下に、貸会議室があります。予約制ですので、お早目にお問い合わせください。

料金：無料

時間：月曜日から金曜日の10:00～17:00

注意：インターネットのご利用は出来ません

2021年8月末現在の個人会員 1085名、 賛助会員 50社

## 賛助会員

朝日航洋㈱, アジア航測㈱, アドソル日進㈱, ㈱インフォマティクス, ESRI ジャパン㈱, NEC ソリューションイノベータ㈱, NTT タウンページ㈱, 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術㈱, 大阪土地家屋調査士会, ㈱かんこう, 関東甲信越東海 GIS 技術研究会, 財岐阜県建設研究センター, 九州 GIS 技術研究会, 近畿北陸 G 空間情報技術研究会, ㈱こうそく, 国際航業㈱, 国土情報開発㈱, ㈱古今書院, GIS 支援センター、GIS 総合研究所いばらき, ジェイアール西日本コンサルタント㈱, ㈱ジオテクノ関西, ㈱ゼンリン, 玉野総合コンサルタント㈱, 中四国 GIS 技術研究会, デジタル北海道研究会, 東北 GIS 技術研究会, ㈱ドーン, 長野県 GIS 協会, にいがた GIS 協議会, 日本情報経済社会推進協会, 日本スーパー・マップ㈱, (財)日本測量調査技術協会, (財)日本地図センター, パシフィックコンサルタント㈱, ㈱パスコ, 東日本総合計画㈱, 北海道 GIS 技術研究会, ㈱マップクエスト, ㈱マップル, ㈱松本コンサルタント, 三菱電機㈱, 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング㈱, (財)リモート・センシング技術センター  
自治体会員：経済産業省特許庁, 総務省統計局統計研修所, (独) 統計センター, 長野県環境保全研究所, 福岡県直方市

## 学会分科会連絡先一覧

●自治体：小泉和久（千葉県浦安市） 事務局：青木和人（あおきgis研究所） Tel : 050-5850-3290 E-mail : kazu013057@gmail.com	●FOSS4G : Venkatesh Raghavan (大阪市立大学) 連絡先：嘉山陽一（朝日航洋㈱） Tel : 049-244-4032 E-mail:youichi-kayama@aeroasahi.co.jp
●ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所） Tel : 03-5379-5601 E-mail : info@georetail.tokyo	●若手分科会：相尚寿（東京大学） Tel : 047136-4302 E-mail : hisaai@csis.u-tokyo.ac.jp
●防災GIS：畠山満則（京都大学防災研究所） Tel : 0774-38-4333 E-mail : hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp	●IoTとGIS：巖網林（慶應義塾大学） Tel : 0466-49-3453 E-mail : yan@sfc.keio.ac.jp
●地図・空間表現：若林芳樹（首都大学東京） Tel : 042-677-2601 E-mail : wakaba@tmu.ac.jp	

## 地方支部の連絡先一覧

＜北海道支部＞ 支部長：株式会社ドーコン 三好達也 連絡先：NPO 法人 Digital 北海道研究会（内） Tel: 011-299-8104, E-mail: gisahokkaido@dghok.com
＜東北支部＞ 支部長：東北大学 井上亮 Tel : 022-795-7478, E-mail : rinoue@tohoku.ac.jp
＜中部支部＞ 支部長：中部大学 福井弘道 連絡先：杉田暁（中部大学） Tel : 0568-51-9894 (内線 5714) E-mail : satoru@isc.chubu.ac.jp
＜関西支部＞ 支部長：大阪工業大学 吉川眞 連絡先：田中一成（大阪工業大学） Tel : 06-6954-4293, E-mail : gisa@civil.oit.ac.jp

＜中国支部＞ 支部長：広島修道大学 川瀬正樹 Tel : 082-830-1210, E-mail : kawase@shudo-u.ac.jp
＜四国支部＞ 支部長：香川大学 野々村敦子 Tel : 087-864-2146 E-mail : nonomura@eng.kagawa-u.ac.jp
＜九州支部＞ 支部長：九州大学 三谷泰浩 Tel : 092-802-3399, E-mail : gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp
＜沖縄支部＞ 支部長：琉球大学 町田宗博 E-mail : mmachida55@gmail.com 連絡先：澤嶺直彦（NPO 法人沖縄地理情報システム協議会） Tel : 098-863-7528, E-mail : takushi@nansei-m.co.jp

■ 編集後記 ■  
第 119 号ニュースレターは、10 月の研究発表大会の案内が中心です。今年度もオンライン開催となります。昨年度の大会は、過去最多の参加者であったとのこと。運営に携われる方々には大変お世話になりますが、今年も多くの方が参加されることを期待します。  
次号のニュースレターからはメール配信に一本化される予定のようです。いつも偶数ページにする編集が難しく、今号も空白が入っていることにご容赦いただきたいですが、メール配信でページ数を気にしなくても良くなるのであれば、担当としては大変助かります。  
窪田 諭（関西大学）

地理情報システム学会ニュースレター

第 119 号 ●発行日 2021 年 9 月 25 日

### ■発行

### 一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階  
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org  
URL: <http://www.gisa-japan.org/>

### ■ 弥生雑記 ■

夏、学会センタービルの花壇には百日紅が咲きこぼれます。秋までクレープ状の可憐な花を次々と開き、さざめくように揺れる花がながらおしゃべりをしているように見えることから百日紅の花言葉は「雄弁」だそうです。その名に「紅」を負いながらも純白の百日紅は、にぎやかなおしゃべりとは一味違う語らいがイメージされ、それが学会らしいようにも感じますが、みなさまはどう思われますか。

もうすぐ大会です。今年もオンラインの大会となります。工夫を凝らして、少しでも快適な環境をご提供できるように努力を重ねております。聴講無料の企画セッションも含め、お早めのお申込みにご協力ください。（学会事務局）

